

檜山森林管理署の取り組み

列状間伐の導入定着に向け、関係機関との
現地検討会や国有林からの技術協力を実施

地域等の課題

背景

- ① 路網未整備等により未間伐林分が多い。
- ② 間伐搬出の出来る事業体が少ない。
- ③ 集約化等が進まず間伐コストが高い。

平成26年度の取り組み

- 国有林の列状間伐箇所
で現地検討会を開催。
- 民有林の間伐箇所
で現地視察・意見交換会
を開催。

国有林



民有林



取組結果

- ・民有林では、森林所有者から列状間伐や集約化等の同意が、得られないこともある。
- ・2回目以降の列状間伐について不安がある。
- ・実際に高性能林業機械が動いているところでの現地検討会を望む。
- ・国有林での現場等を見る機会が無かったことから大変良かった。またやってほしい。

現地検討会や視察会は国有林・民有林でそれぞれ3回開催し、参加者は、振興局・森林室、市町村林務担当者、森林組合職員、私有林所有者等延べ217人余りに上った。

将来目標

地域にあった
作業システム

生産性の向上(コストの削減)
労働安全性の向上etc.